

ふりがな 氏 名	たけだ とくのり 竹田 徳則	職 名	教授
取 得 学 位	博士(社会福祉学)	学会での受賞歴	第27回総合リハビリテーション賞受賞 (令和元年9月)
主な担当科目	リハビリテーション概論、健康増進とリハビリテーション、予防的作業療法学、作業療法管理学、研究法概論		
所 属 学 会	日本認知症ケア学会、日本認知症予防学会（代議員令和元年6月から現在に至る）、 日本公衆衛生学会、日本老年精神医学会、日本老年社会科学会、日本作業療法士協会、 愛知県作業療法士会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教科書 「作業療法研究法」(星城大学) 医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-21676-7	平成29年 11月	編集:竹田徳則、大浦智子 著者:竹田徳則、大浦智子、木村大介、藤本修平 担当:全154ページ中、研究を始めるにあたって(p1-22)、 研究計画の立案(p29-32)、調査票の設計(p42-49)、研究 の発表(p122-137)の計51ページを執筆と全体を編集。 作業療法士を目指す学生に留まらず、作業療法士が臨床 で研究を取り組もうとする場合や研究の質向上を高める入 門書として執筆と編集を行った。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	介護予防活動のための地域診断 データの活用と組織連携ガイド (星城大学) <ISBN> 978-4-909234-01-8	共	平成29年 10月	データに基づき地域づく りによる介護予防対策を 推進する研究会研究班	データに基づき地域づくりによ る介護予防対策を推進する研究 会(編) 著者:近藤尚己、高木大資、中 村廣隆、鶴川重和、斎藤民、菖 蒲川由郷、山谷麻由美、相田 潤、齋藤順子、斉藤雅茂、白井 こころ、尾島俊之、竹田徳則、花 里真道、藤野善久、太田亜里 美、田代敦志、近藤克則 担当:全114ページ中、事例集 愛知県武豊町ボランティア研修 におけるデータ活用(p79-84)を 執筆
	住民主体の楽しい通いの場づくり (星城大学) <ISBN>978-4-8180-2187-7	共	平成31年 3月	日本看護協会出版会	近藤克則(編) 著者:荒木典子、太田崇、大田 康博、岡田栄作、尾島俊之、甲 斐裕子、小林美紀、近藤克則、 近藤尚己、斎藤雅茂、佐々木直

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	ソーシャル・キャピタルと健康・福祉実証研究の手法から政策・実践への応用まで <ISBN>978-4-623-07774-8	共	令和2年4月	ミネルヴァ書房	子、 <u>竹田徳則</u> 、中村廣隆、前田梨沙、横山芽衣子 担当:全111ページ中、ボランティア研修(p46-52)を執筆  近藤克則(編著) 著者:近藤克則、斎藤雅茂、藤野善久、浅川剛、尾島俊之、村山陽、藤原佳典、佐々木由理、宮國康弘、岡田栄作、小坂健、相田潤、近藤尚己、藤原武男、高木大資、辻大士、金森悟、 <u>竹田徳則</u> 、井上彰臣、高尾総司 担当:地域での健康づくりとソーシャル・キャピタルー通いの場に着目した取り組み(p.220-237)を執筆
論文	Social interaction and cognitive decline: Results of a 7-year community intervention  地域在住高齢者の心理社会面に着目した認知症予防ー武豊プロジェクト  わが国における認知症の行動・心理症状(BPSD)に対する非薬物療法の現状と課題  介護予防事業に参加する地域在住高齢者における双方向の因果関係が想定される認知機能と抑うつ状態に関する検討  回復期リハビリテーション病棟入院の抑うつ・アパシーを呈した認知症高齢者に対する集団料理活動の効果  Influence of social relationship domains and their combinations on incident dementia: a prospective cohort study	共 共 共 共 共	平成29年  平成29年  平成29年2月  平成29年6月  平成29年8月  平成30年	Alzheimer's & Dementia: Translational Research & Clinical Interventions. 3  MEDICAL REHABILITATION 206  日本認知症ケア学会誌 16(2): 484-497.  作業療法 36(3)  老年精神医学雑誌 28(8)  J Epidemiol Community Health72(1)	Hikichi, Hiroyuki, Katsunori Kondo, <u>Tokunori Takeda</u> , Ichiro Kawachi p. 23-32.  <u>竹田徳則</u> p.45-50  窪優太、 <u>竹田徳則</u> p.484-497  木村大介、 <u>竹田徳則</u> 、藤田高史、砂原伸行、中谷謙、能登谷晶子 p.342-348  窪優太、中澤僚一、各務真菜、加藤美樹、中島大貴、岡村英俊、長谷川慧、 <u>竹田徳則</u> p.899-904  Saito T, Murata C, Saito M, <u>Takeda T</u> , Kondo K p.7-12

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	物忘れを主訴とした高齢者の軽度認知機能障害に関する神経心理学検査及び日常生活活動の特徴	共	平成30年2月	認知症予防学会7(2)	備前宏紀、 <u>竹田徳則</u> 、木村大介、山名知子 p.13-19
	フレイルから改善した地域在住高齢者の特徴:JAGES 縦断研究	共	平成30年9月	総合リハ46(9)	渡邊良太、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、金森悟、辻大士、近藤克則 p.853-862 第27回総合リハビリテーション賞受賞論文
	手段的日常生活活動(IADL)は認知機能に対し保護的に作用するのか。内側側頭葉の萎縮ー認知機能・IADLの相互関連の検討ー	共	平成30年10月	作業療法37(5)	備前宏紀、 <u>竹田徳則</u> 、木村大介、山名知子 p.537-544
	Change in Municipality-Level Health-Related Social Capital and Depressive Symptoms: Ecological and 5-Year Repeated Cross-Sectional Study from the JAGES	共	令和元年6月	Int J Environ Res Public Health 16(11)	Watanabe R、Kondo K、Saito T、Tsuji T、Hayashi T、Ikeda T、 <u>Takeda T</u> doi:10.3390/ije_rph16112038
	Correlations between Forgetfulness and Social Participation: Community Diagnosing Indicators	共	令和元年7月	Int J Environ Res Public Health 16(13)	Seungwon Jeong、Yusuke Inoue、Katsunori Kondo、Kazushige Ide、Yasuhiro Miyaguni、Eisaku Okada、 <u>Tokunori Takeda</u> 、Toshiyuki Ojima doi: 10.3390/ijerph16132426
	診断前後のサポートはどうあるべきか 作業療法士の立場から	単	令和元年8月	老年精神医学雑誌30(8)	竹田徳則 p.877-883
	地域で継続して生活するためにフレイルと心理社会面に着目した作業療法	単	令和元年9月	OTジャーナル53(11)	竹田徳則 p.1128-1134
	通いの場参加後の社会参加状況と健康情報・意識に関する変化ーJAGES 通いの場参加者調査	共	令和元年11月	総合リハ47(11):	林尊弘、 <u>竹田徳則</u> 、加藤清人、近藤克則 p.1109-1115
	地域在住フレイル高齢者と社会参加活動に関する定性的システムティックレビューー介入効果に関する検討	共	令和2年9月	日本サルコペニア・フレイル学会雑誌5(1) <a href="http://Jssf.umin.jp/news.Html">http://Jssf.umin.jp/news.Html</a>	森優太、 <u>竹田徳則</u> 、渡邊良太、窪優太

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論文	介護予防制度改正による二次予防 対象者割合の変化:複数市町デー タによる検討-JAGES 横断分析	共	令和2年 11月	地域リハビリテーション 15(5)	加藤清人、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、 平井寛、鄭丞媛、近藤克則 p.382-388
	通いの場への理学療法士の関与 有無別による身体的フレイルと 健康関連指標の変化-1年間の非 ランダム化比較試験	共	令和3年 6月	日本サルコペニア・フレ イル学会誌 5(1)	森優太、 <u>竹田徳則</u> p.122-130
	回復期リハビリテーション病棟認知 症併存患者における行動・心理症 状の実態と変化	共	令和3年 10月	作業療法 40(5)	佐藤英人、 <u>竹田徳則</u> p.598-607
学会発表	通いの場で実施されているプログ ラムの傾向-JAGES プロジェクト 参加8市町の分析	共	平成29年 10月	第76回日本公衆衛生学 会総会(鹿児島市)	<u>竹田徳則</u> 、加藤清人、近藤克 則、平井寛、鄭丞媛 (ポスター)
	通いの場参加者の参加後の社会 参加状況と主観的健康感との関連 JAGES プロジェクト	共	平成29年 10月	第76回日本公衆衛生学 会総会(鹿児島市)	林尊弘、 <u>竹田徳則</u> 、近藤克則、 加藤清人、平井寛、鄭丞媛 (ポスター)
	通いの場参加者のフレイル割合と 参加年数別の運動開始の有無との 関連	共	平成29年 10月	第76回日本公衆衛生学 会総会(鹿児島市)	加藤清人、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、 平井寛、鄭丞媛、近藤克則 (ポスター)
	通いの場2時点参加有無別社会参 加状況の変化-JAGES 2013-2016 パネルデータ分析	共	平成30年 10月	第77回日本公衆衛生学 会総会(郡山市)	<u>竹田徳則</u> 、平井寛、加藤清人、 村田千代栄、近藤克則 (ポスター)
	「通いの場」はソーシャル・キャピタ ル醸成の場となるか?	共	平成30年 10月	第77回日本公衆衛生学 会総会(郡山市)	村田千代栄、 <u>竹田徳則</u> 、斎藤 民、平井寛、加藤清人、近藤克 則(ポスター)
	認知症予防に向けた「通いの場参 加」は社会参加促進の地域づくり につながるか? -JAGES 2013-2016 パネルデータ分析	共	令和元年 10月	第9回日本認知症予防 学会学術集会(名古屋 市)	<u>竹田徳則</u> 、林尊弘、平井寛、他 (口述)
	地域在住高齢者の通いの場参加 状況別のうつ発症率	共	令和元年 10月	第78回日本公衆衛生学 会総会(高知市)	加藤清人、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、 平井寛、近藤克則 (ポスター)
	通いの場参加者に対するリハビリ テーション専門職関与はフレイルと 健康指標に変化を認めるか	共	令和2年 9月	第7回日本予防理学療 法学術大会(オンライン)	森優太、 <u>竹田徳則</u> (ポスター)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学 会 発 表	通いの場参加の身体的プレフレイル高齢者における関連要因の検討ー身体・心理・社会面に着目した横断研究ー	共	令和3年 11月	第8回日本予防理学療法学会学術大会 (オンライン)	森優太、 <u>竹田徳則</u> (口述)
	通いの場に来る日は普段よりも歩く時間は長いのか？ーJAGES参加6市町の分析	共	令和3年 12月	第80回日本公衆衛生学会総会	<u>竹田徳則</u> 、加藤清人、平井寛、 近藤克則(ポスター)
	通いの場参加をきっかけにした運動の会等への参加開始状況ーJAGESプロジェクトー	共	令和3年 12月	第80回日本公衆衛生学会総会	加藤清人、 <u>竹田徳則</u> 、林尊弘、 平井寛、近藤克則(ポスター)
学 会 発 表 (シンポジウム)	自治体・住民と取り組む地域参加型研究(CBPR)「武豊町住民ボランティア育成におけるデータ活用例」	単	平成29年 6月	第59回日本老年社会科学会(名古屋市)	竹田徳則 (シンポジスト)
	ソーシャルキャピタルと認知症予防「サロン活動を通じた認知症予防ー武豊プロジェクト」	単	平成30年 9月	第8回日本認知症予防学会学術集会(東京都)	竹田徳則 (シンポジスト)
	自治体・住民と取り組む地域参加型研究(CBPR)「武豊町住民ボランティア育成におけるデータ活用例」	単	令和元年 10月	第78回日本公衆衛生学会総会(高知市)	竹田徳則 (シンポジスト)
その他 (報告書)	ポピュレーションアプローチによる認知症予防のための社会参加支援の地域介入ー平成28年度研究報告書(研究代表)	共	平成29年 3月	厚生労働科学研究補助金(認知症政策研究)	平成28年度総括報告及び分担研究報告書11編からなる報告書全146ページを編集、うち4編執筆と6編分担執筆し公開した。 <u>竹田徳則</u> 、近藤克則、平井寛、加藤清人、鄭丞媛
	ポピュレーションアプローチによる認知症予防のための社会参加支援の地域介入ー平成29年度研究報告書(研究代表)	共	平成30年 3月	厚生労働科学研究補助金(認知症政策研究)	平成29年度総合研究報告及び分担研究報告書7編からなる報告書全76ページを編集、うち1編執筆と5編分担執筆し公開した。 <u>竹田徳則</u> 、近藤克則、平井寛、加藤清人、鄭丞媛

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
その他 (報告書)	社会参加支援による認知症の予防 に向けた心理社会的経路の解明 に関する研究—報告書 (研究代表)	共	令和3年 11月	科学研究費補助金基盤 研究B	令和2年度実施「通いの場参加 者調査」報告書として全92ペー ジを編集、うち3編執筆と3編分 担執筆し公開した。 竹田徳則、近藤克則、平井寛、 加藤清人